

* * * 日本プレイセラピー協会主催 * * *

プレイセラピー入門コース

プレイセラピーをこれから勉強したいという方、大学や大学院で学んできたけれど、実践に役立つものとしてプレイセラピーの基礎を身につけたいという方のために、少人数で学ぶ半年間のコースを開講いたします。プレイセラピーの歴史、理論、基本技法、プレイセラピストに必要な資質などの入門的な必須知識を理論講義だけでなく、少人数でのロールプレイ演習やそれぞれの疑問や課題をディスカッションしていく形を通して、体験的に学びながら、今後それぞれがプレイセラピーという広く深い世界をどのように探求していったらよいかの指針を得られるようにしていきます。米国プレイセラピー協会の公式単位認定プログラムとして認められているプログラムですので、ご希望の方には終了証明書をお渡しし、それらは、プレイセラピストとしての認定単位とすることができます。

【日程】 6日間で1つのコースです。(5時間×6日間=30時間)

2010年 9月11日(土) 1時から6時

2010年 9月12日(日) 10時から4時 (途中1時間お昼休みがあります)

2010年11月13日(土) 1時から6時

2010年12月11日(土) 1時から6時

2011年 3月12日(土) 1時から6時

2011年 3月13日(日) 10時から4時 (途中1時間お昼休みがあります)

【参加条件】 心理・教育・保育・医療・看護・福祉の大学院在学以上、または、
プレイセラピー実施経験者

【定員】 6～15名

【参加費】 6日間全日程参加で70,000円

【会場】 東京都内会場を予定しています。(参加者にお知らせいたします)

A P T (アメリカプレイセラピー協会) 単位認定プログラムです。
(APT approved provider 08-225)

【プログラム内容】

1. プレイセラピーの歴史（プレイセラピーを作ってきた主要な人々や理論を学ぶ）
2. プレイセラピーの理論、いろいろなプレイセラピー、プレイセラピーと文化
3. 遊びの持つ治療的な力
4. 子どもの発達を理解する
5. プレイセラピーのセッティング
6. プレイセラピーのプロセス
7. プレイセラピーの基本スキル
8. プレイセラピストに必要な資質とトレーニング
9. プレイセラピーにおける様々な技法
10. 親とのかかわり

以上の内容を6日間で網羅していきます。順番は必ずしもこの通りではありません。

【お申し込み・お問い合わせ】

* 日本プレイセラピー協会ホームページからのお申し込み、お問い合わせとなります。

協会ホームページ：<http://www.ja4pt.org/>

メール（ play_therapy@nifty.com ） または、メールをお持ちでない方は、FAX 042 - 759 - 6199（青山学院大学学生相談センター内日本プレイセラピー協会事務局）でも、以下の項目をご記入いただけましたら、お申し込みをお受けできます。（必要記入事項：お名前、ふりがな、性別、連絡先住所、電話、FAX、メールアドレス、所属、職種、心理臨床経験年数、プレイセラピー臨床経験年数、卒業（所属）大学や大学院名と専攻、お申し込みプログラム名、研修証明書発行の希望の旨、臨床心理士の方は臨床心理士番号、当研修会をお知りになったきっかけについて）

* お申し込み内容を受理いたしました後、こちらから参加費振り込み口座をお知らせいたしますので、追ってご入金をお願いいたします。ご入金をもって正式受付となりますので、正式受理書類を郵送とメールにてお送りいたします。

* ご入力メールアドレスにお間違いがありますと、こちらからのご連絡ができなくなりますので、ご注意ください。

* お申し込み後、事務局より振込口座のお知らせ、入金後の正式受理通知などが、しばらくお待ちいただいても、お手元に届かない場合には、通信障害や郵送事故の可能性がございますので、お手数ですが、事務局までお問い合わせくださいますよう、よろしくお願いたします。

* ご入金後のキャンセル、返金はいたしかねます。ご了承ください。

締め切り：2010年6月30日(水) 先着にて受付 (定員になり次第、締切日前でも締め切りとさせていただきますので、予めご了承ください。定員空き状況はホームページにてご確認ください。)

【研修証明書発行】

* 本講座は、米国プレイセラピー協会において認定された講師による、認定証明書発行対象のプログラムとなっています。(APT approved provider : 08 - 225)
ご希望の方には、米国プレイセラピー協会の研修証明書を発行することができます。認定プレイセラピストの資格を取得する際に必要研修時間として認められます。発行手数料は3000円です。申込時に、要・不要を記入し、要の方はお振込み金額合計に3000円をご加算ください。

* 臨床心理士ポイント申請予定です。

【講師紹介】

大野木嗣子先生 (Psy.D.)

カリフォルニア・スクール・オブ・プロフェッショナル・サイコロジー (サンディエゴ) 臨床心理学博士号取得。現在東京都港区で開業、国際基督教大学にてプレイセラピーの客員講師。日本プレイセラピー協会共同創設者・理事、International Mental Health Professionals Japan(IMHPJ)元理事、Nana s Children Mental Health Foundation 顧問などを務める。

子ども、家族、プレイセラピー、子育て支援や多文化的問題を専門とし、ワークショップやセミナーも多数開催している。平成 16 年のスリランカの津波の災害時に Operation USA と米国プレイセラピー協会の支援の下で直接心理的な援助をおこなう。幼少時期と大人になってからも日本とアメリカ両方で過ごしたため、完全なるバイリンガル、バイカルチュラルでもある。編著などには以下がある。

“International Handbook of Play Therapy” Charles Schaefer, Ph.D., Akiko Ohnogi, Psy.D., and Judy McCormick, M.A., Eds., Rowan&Littlefield ,2005

“Play based psychological interventions with traumatized children: Work with tsunami orphaned Sri Lankan children. International Journal of Counseling and Psychotherapy, Vol 4, 2006

“Play Therapy and Safe Space” International Journal of Counseling and Psychotherapy, vol. 5 , 2007

“Play Therapy for the Very Young” Charles Schaefer, Ph.D., Phronsie Kelly-Zion,MA., Judy McCormick, M.A., and Akiko Ohnogi, Psy.D., Eds. Rowan&Littlefield, 2008

“Using play to support children traumatized by natural disasters: Chuetsu earthquake series in Japan”, chapter in Mass Trauma and Emotional Healing Around the World Volume 1 Ani Kalayjian and Dominique Eugene Eds. Praeger Pub. 2010

湯野貴子先生

日本プレイセラピー協会代表。臨床心理士。RPT-S (米国プレイセラピー協会認定プレイセラピストスーパーバイザー)。東京プレイセラピーセンター主宰。

都内教育相談所勤務を経て、ファミリーメンタルクリニックまつたに・クリニック川畑において、子どものプレイセラピー、保護者に対する子育て相談、親子同席のプレイセラピーなどを行ってきた。東京都の離島である神津島村、新島村、小笠原村の子育て支援事業にも従事。静岡大学大学院、桜美林大学大学院付設臨床心理センターにおいてプレイセラピーのスーパービジョンを行っている。

精神分析的心理療が専門領域でもあり、分析的なケースのアセスメントを基盤とした親子への介入の組み立てを行う。訳書に「ケースの見方・考え方」(ナンシーマックウィリアムズ著、創元社)「虐待を受けた子どもの統合的プレイセラピー(仮題)」(エリアナ・ギル著、創元社、2010年刊行予定)

主催：日本プレイセラピー協会<http://www.ja4pt.org> 共催：ドクター大野木サイコセラピー・カウンセリングクリニック

代表：湯野貴子(ファミリーメンタルクリニックまつたに) 副代表(事務局長)：葛生聡(青山学院大学)

理事：大野木嗣子(Psy.D.、ドクター大野木サイコセラピー・カウンセリングクリニック)